

# 連合徳島ユースターNEWS

(2023年度 第1号)



去る2022年12月6日「2023年次総会」において新役員体制、活動計画他の承認をいただき、2023年度の活動が始まりました。(総会の報告他については、NEWS総会特別号をご参照ください)

以下、冬から春頃にかけての内容となりますが、以後の新メンバーでの活動につき、簡単にご報告いたします。

その中でも今回のユースターNEWSでのトピックスとして、2023年3月10日に開催の「春季学習委員会」、3月18日に開催の「青年委員会・女性委員会 合同学習会」の研修レポートを掲載しております。充実した内容の研修となっておりますので、ぜひご一読ください。

## 【経過報告】

[①「第10回 生活困窮者越年支援ボランティア」(2022年12月27日～12月29日)]

●労働福祉会館別館を会場として開催された同活動につき、12月29日(配布当日)の駐車場整理対応の任務に、青年委員会から2名が参加しました。

[②「青年委員会 第1回幹事会」(2023年1月12日)]

●幹事10名が参加し、青年委員会としての活動の目的および体制の確認、今年度の年間活動計画および直近の研修会等についての方向性や具体的内容の協議、ボランティア活動への参加に対するスタンス等の確認、広報活動の運用方針の協議、地方連合会主催の各種集会への対応確認等を実施しました。

[③「第26回 とくしままちなか花ロードproject」(2023年1月21日)]

●事務局を含めて5名が参加し、NPO法人「新町川を守る会」が主催する徳島市内中心部における花植え活動に参加しました。

[④「2023春闘開始宣言集会・連合白書学習会」(2023年2月7日)]

●宣言集会でのアピール対応を行うと共に、集会・学習会への参加により研鑽を深めました。

[⑤「第43回 部落解放・人権徳島地方研究集会」(2023年2月9日～10日)]

●2月9日の全体集会はあわぎんホールにて、2月10日の分科会はアスティとくしまにて、久々の対面開催となり、青年委員会としては、2名が司会対応・受付対応等の任務を担当しました。

[⑥「青年委員会 第2回幹事会」(2023年2月20日)]

●幹事10名が参加し、直近の「春季学習研修会」、「青年委員会・女性委員会 合同学習会」の具体的な内容確認および任務分担の協議等を実施しました。

[⑦「2023春闘勝利総決起集会・第20回統一地方選挙必勝の集い」(2023年3月2日)]

●集会でのアピール対応を実施しました。

[⑧「青年委員会春季学習研修会」(2023年3月10日)]

●NPO法人「クレエール」にて15名の参加により開催され、クレエールの施設見学および「子ども食堂・宅食」事業の運営を通じて浮き彫りとなる貧困家庭の問題等につき、原田昭仁理事長の講演をいただき、様々な知見を得て、研鑽を深めました。(詳細については藤井事務局次長の研修レポート[別掲]他をご参照ください)

[⑨「青年委員会・女性委員会 合同研修会」(2023年3月18日)]

●23名の参加により開催され、連合本部より政治センター事務局の照沼局長を講師にお招きして「政治と労働組合」他のテーマでのご講演をいただくと共に、両委員会の活動報告を行い、相互の活動への理解を深め、懇談会で交流を深めました。(詳細については山本幹事の研修レポート[別掲]他をご参照ください)

[文責:四国電力労働組合 小畑 文人]



## 【春季学習研修会および女性委員会との合同学習会レポート】

徳島市万代町の「万代ふ頭」の一角にあるNPO法人「Creer(クレエール)」。  
スペイン語で「信じる」という意味のとおり、障がいのある人が社会の中で自立して働くチャンスを得て、お客さま、地域の人に喜ばれる仕事ができるという可能性を信じて共に努力を続ける、という信念の元に2008年に設立されました。

障がいのある人の就労の場として、お弁当製造販売を中心にレストランを運営するほか、IT、縫製、手工芸、芸術、スポーツ活動、地域交流事業など、幅広い分野の事業に取り組んでいます。  
(クレエールの活動については、Facebookでも積極的に情報発信されており、また、新聞紙上等でも活動の記事が掲載されております。ぜひ、ご確認をいただければと思います)

当施設にて、3月10日(金)の18時30分から、15名の参加により、連合徳島青年委員会 春季学習研修会が開催されました。

クレエールの原田昭仁 理事長より「子ども食堂・宅食」事業で浮き彫りとなる「ひとり親・貧困」などの社会問題についてお話を聞かせていただきました。

身近なところで貧困問題が起こっていることを知り、生きていく上での食の大切さ、人と繋がりを持つ上でのコミュニケーションをとり続けることの大切さを改めて学ぶことができました。

【画像は施設見学および講演の様子と集合写真です】 (Facebook記事より抜粋)



3月18日(土)の15時より、23名の参加により、更なる活動の広がりを目指しとして、連合徳島では初の企画となる、青年委員会・女性委員会の合同学習会を行いました。

学習内容としては連合本部政治センター事務局 照沼局長より「政治と労働組合」「若者が政治を変える」のテーマについて、お話を聞かせていただきました。

若者が政治にもっともっと参加してより良い社会を作っていくことがとても大切だということを改めて学ぶことができました。

また、相互の活動報告他を通じて女性委員会との交流を図り、今後の更なる連帯のベースを築くことができ、とても有意義な研修になりました。

【画像は講演および活動報告等の様子です】 (Facebook記事より抜粋)



※過去のNEWS他の資料については、連合徳島HPに掲載しております。興味がある方は是非  
ご一読ください。



2023 連合徳島青年委員会 春季学習研修会  
(報告者 連合徳島青年委員会 藤井一記)

2023年3月10日にNPO法人「Creer(クレール)」にて、連合徳島青年委員会の春季学習研修会を実施し、Creerの理事長である原田昭仁様に講演いただきました。

今回の研修会では講演に先立ち、Creerで実際に行われている活動について、現場を見せていただきながら説明いただきました。

宅食の荷詰めの現場やお風呂場、こどもキッチンを見学しましたが、いずれの場所でも今までの活動の中で実際に自分たちで見聞きした事実をもとに、こどもやその家族が本当に必要としているものが何なのか、例えば、食料であれば調理の必要な野菜などではなく簡単にすぐに食べることのできるインスタント食品やレトルト、缶詰などが好まれるという経験をもとに、宅食で配る物資を工夫している等、改善を繰り返しながら活動を進めていることがわかりました。

続く原田理事長の講演では、障がい者の雇用についてのCreerの成り立ちや、思いについて、こども食堂の取り組みをはじめとする、あまり世間一般に見えてこない貧困家庭のこどもたちの実態とこれまでのそのこどもたちに対する取り組みについて、実際の経験を交えて熱く語っていただきました。

障がい者の取り組みでも、こどもたちへの取り組みでも、人間関係の構築を一番として、最初は一方通行だとしても、1回きりの関係で終わらせずに継続することで、少しずつ信頼を築いていくことを大事にしている事が伝わってきました。

また、宅食のお話の中で、ご自身が体験した様々な貧困家庭との関わり方についてもお話を頂きました。

我々が生活していく中でなかなか気づくことができないですが、私たちが思っている以上に貧困の問題は身近なところにあり、そういう家庭ほど他者との関係も希薄になるため、余計に目につかなくなっているのだということに気づかされました。

原田さんも講演の中で、宅食を届けただけでは「親と子の関係を見る」とおっしゃっておられました。こどもの身だしなみや靴、挨拶が出来る出来ない、質問するとまず親の顔をうかがう等些細な気付きから、本当に助けを必要としている家庭を見抜き、そういった家庭については意識して訪問回数を増やすなど、少しずつでも関係性を作りあげ、最終的にこども食堂に参加してもらえるようになるまでに変えていく、活動を継続していく情熱を感じることができました。

今回は、Creerの方に軽食も用意していただき、カレーやうどんを食べながらお話を伺いましたが、原田さんは、1時間半余りの講演の後も、まだまだ話したりないといった感じで、自分たちの活動に対してたくさんの思いをもって活動していることが伝わってきました。

昨年の春季学習会で話をうかがった喜多條さん、今回の原田さんとクレールとは今後とも青年委員会としても連携を深めていき、我々でもできることを少しずつでも協力していきたいと思えます。

地元の徳島にこのように、高い志をもって周りからも高く評価されているような活動を行っている団体があることをもっと周囲に広めていくことを約束して結びの言葉といたします。

本当にありがとうございました。ともに歩んでいきましょう！

連合徳島 青年委員会・女性委員会合同学習会レポート

(報告者 連合徳島青年委員会 山本 圭介)

2023年3月18日にザ・グランドパレス徳島にて、連合徳島青年委員会・女性委員会合同学習会を開催しました。

今回の学習会は青年委員会の小畑委員長の開会あいさつから始まり、参加者22名と大人数であったにも関わらず終始和やかなムードで進行していきました。

次に、本日の主要連合本部 政治センター事務局の照沼局長から「政治と労働組合」について貴重なご講演をいただきました。内容としては、労働組合が政治活動に取り組むのは、組合員と家族の暮らしを改善し、幸せを拡大するためである。その政治活動をするためには、組合員一人ひとりが公職選挙法や政治資金規正法等の法律を知っていくことである、というものでした。実際、政治活動と選挙運動では規制対象も違い、学習しておかないとその違いや法律に抵触してしまう複雑なものでしたが、照沼さんの要点をついた講演で、非常にわかりやすく学習できました。中でもユニークだったのは、選挙事務所が選挙運動中に提供できる食事数は一日45食以内で、お酒を飲ませて投票依頼すると買収にあたる、というものです。このような、知っておかなければいけない禁止事項も学習できたのは、今後選挙運動に取り組むうえで非常に大切だと感じました。

そして講演の終盤に照沼局長から、物価高や増税で消費者の生活が圧迫される今、労働組合こそ声を挙げて、この状況を変えるために尽力していきましょうという言葉があり、私を含め参加者全員の胸に響いたと感じました。

照沼局長のご講演が終了した後は、青年委員会の活動報告を長岡事務局長から、女性委員会の活動報告を三木事務局長からいただきました。活動報告から感じたのは、両委員会ともにボランティア・学習会等を実施しており、社会貢献を通じて労働運動を行っているということでした。今後も青年委員会・女性委員会で切磋琢磨し合いながら徳島の労働運動を盛り上げていきたいと思いました。

最後に、女性委員会の藤田委員長から閉会のあいさつをいただき、学習会は終了となりました。私がこの学習会から学んだことがあります。それは、徳島の運動を盛んにし、組合員とその家族の生活を向上させるためには、より学習し、身の回りの人に寄り添う等、自分にできることを最大限していかなければいけないということです。この先も課題や困難に立ち向かうことがあるでしょうが、今日学習したことを胸に、連合徳島青年委員会ならきっと乗り越えていけると感じました。これからも、ともに頑張りましょう！